

## Q&amp;A（赤羽台西小学校改築事業）

2026/4/6

大分類	小分類	No.	質問	回答	
A.改築事業	1.事業概要	A-1-1	なぜ改築工事を行うのですか。	古くなった校舎を建て替え、教育環境の充実を図るためです。北区では平成17年から小・中学校の改築を計画的に進めています。なお、現校舎は昭和36年に建設され、築60年以上が経過しています。	
		A-1-2	新校舎開設までのスケジュールを教えてください。	以下のスケジュールにて改築を進めてまいります。 令和7～10年度 新校舎建築工事 令和10年9月 新校舎開設 令和10～13年度春 旧校舎解体工事、埋蔵文化財本発掘調査、外構工事、グラウンド整備工事	
		A-1-3	【2026/4/6追加】 過去2回の入札不調により、工事スケジュールはどのように変更してきましたか。	【2026/4/6追加】 当初の工事スケジュールでは、令和9年9月の開設を目指しておりましたが、2度の入札不調を受けて令和10年9月開設に変更しました。そのため、開設後に行うグラウンド整備の完了時期も令和11年秋から令和13年春へと変更しました。	
	2.居ながら改築	A-2-1	居ながら改築とは何ですか。	居ながら改築とは、仮移転先の校舎を使わず、現校舎を使用しつつ、校庭側に新校舎を建設する方法です。新校舎完成後は既存校舎を解体し、その場所にグラウンドを整備します。	
		A-2-2	居ながら改築のメリットは何ですか。	仮移転の場合と比べて、改築工事中でも通学動線が大きく変わらない点です。また、学校機能を移転させることによる児童や教員の皆様の負担もなく、学童クラブの延長育成利用時のお迎えの動線も現在と同様のため、保護者の皆様の負担を軽減することができます。	
		A-2-3	居ながら改築のデメリットは何ですか。	工事に伴う音や運動スペースの制限など学習環境への影響が懸念されます。工事に伴う音について、影響を最小限に抑える低騒音、低振動型の重機の利用、作業部に防音パネル、防音シートを設置するなどの対策を、運動スペースの制限については下記「C-1-1」記載の対策を講じ、学校と相談しながら事業を進めてまいります。	
		A-2-4	居ながら改築をする理由は何ですか。	居ながら改築を選択した理由は、赤羽台西小学校の改築事業を着手することを決定した令和4年度の段階では近隣で校舎同等の仮移転先の確保が難しかったこと、通学への影響を最小限にとどめること、そしてURから土地を取得（約1,800㎡）できることにより校地を拡大できるという他校にない好条件もあり総合的に判断した結果です。	
		A-2-5	居ながら改築では事故の可能性が心配です。安全対策はどうなっていますか。	工事現場は児童と隔離された状態で管理します。また、登校時の工事車両の制限や下校時の安全に関しても徹底します。	
	B.入札不調	1.入札不調について	B-1-1	入札不調とは何ですか。	入札不調とは、予定していた工事に対して必要な条件を満たさず入札者がいない、または応募がない状況を指します。
			B-1-2	2回入札不調となった理由を教えてください。	現在の建設業界は需要が高まり、技術労働者の不足や資材価格の高騰などが影響しております。
B-1-3			技術労働者の不足は次の入札でどのような対策をしますか。	技術労働者不足は、コロナ禍後の急速な工事発注量の増加により、全国的に建設需要が高まっている状況が要因となっています。こうした状況から、技術労働者確保を目的に、多くの建設事業者に対して早期の入札情報の発信等を行い、入札が円滑に進められるよう対応をしております。	
B-1-4			建設資材価格の高騰は次の入札でどのような対策をしますか。	建設資材価格の高騰が次の入札で解消されるかどうかについては、国内外の経済状況や需給バランスの影響を受けるため、一概に解消されるとは言い難い状況です。しかしながら、当区の最新の工事単価をもとに必要な予算を確保しております。この予算を基盤とし、資材価格の動向を慎重に見極めながら、適切な予定価格を設定し、次回の入札が円滑に進むよう準備を進めています。今後も引き続き、資材価格の変動を注視しつつ、適切な対応に努めてまいります。	
B-1-5			工事スケジュールはどのように変更してきたのですか。	初回の工事スケジュールでは、令和9年9月の開設を目指しておりましたが、2度の入札不調を受けて令和10年9月開設に延長しています。こちらに伴い、新校舎の後のグラウンド整備も令和11年秋から令和13年春へと延期しました。	
B-1-6			今後の入札スケジュールはどうなっていますか。	令和8年2月に改めて入札を実施します。	
B-1-7			入札不調を受けて次の入札ではどのような対策をしていますか。	工期設定の変更や予定価格の見直しなどの対策を講じております。また、2者JV（ジョイントベンチャー）に限らず、区外の事業者を含む単体企業も参加できる「混合入札方式」へ変更することで、より多くの事業者が入札に参加できる環境を整備しています。	
B-1-8			2者JVとは何ですか。	2者JV（ジョイントベンチャー）とは、複数の企業が協力して事業を遂行するために結成する共同企業体のことです。今回の改築事業では、2者の建設関連企業が協力し、各社が持つ技術、資材、労働力を組み合わせる事業を進める形態を指しています。この方式は、大規模な事業や専門的な技術が必要な案件において活用されることが一般的です。	
B-1-9			2月の入札で落札した場合、いつ情報提供をしてくれませんか。	令和8年第1回北区議会定例会での承認（3月下旬予定）を得て契約、工事着手という流れになります。本案件に関する情報は、契約成立後に必要な内容をお知らせいたします。入札後から契約までの段階では具体的な内容をお伝えすることが難しい場合がございますが、適切な対応に努めてまいります。	

C.運動スペース	1.グラウンドの使用・運動会について	C-1-1	校庭が使えないことに保護者として不満があります。対応策はありますか。	校庭が使えないことへの対応として、既に赤羽自然観察公園の利用や体育館、人工芝化した屋上の利用を進めているほか、校内において新たな運動スペースの確保について進めているところです。児童が安全で十分な運動機会を持てるよう、最大限の対応を行います。この件につきましては1月中旬を目途に詳細が決定次第、速やかに情報をお知らせいたします。 【2026/4/6追加】 新たな運動スペースとして、3月下旬に正門脇植栽帯を撤去し、ハードコート舗装へ整備する工事が完了いたしました。
		C-1-2	グラウンドが使用できない間、運動会（スポーツフェスティバル）はどうするのですか。	令和7年度の運動会（スポーツフェスティバル）については、東洋大学赤羽台キャンパス内のアリーナで実施しました。令和8年度についても同様の施設で運動会（スポーツフェスティバル）ができるように進めております。令和9年度以降の運動会（スポーツフェスティバル）についても学校と協議をしながら進めてまいります。
		C-1-3	グラウンドが完成する時期が遅れた理由は何ですか。	新校舎完成後にグラウンド整備が始まるため、全体の工事スケジュールが変更されたことが理由です。
	2.プールについて	C-2-1	新校舎開設までの間、プール授業はどこで実施する予定ですか。	令和7年度のプール授業については、パノラマプール十条台で実施しました。令和8年度についても同様の施設でプール授業ができるように進めております。令和9年度以降のプール授業についても学校と協議をしながら進めてまいります。
D.その他	1.その他	D-1-1	今後の進捗状況は何かで確認できますか。	区ホームページや改築レターの発行、学校を通じて随時情報提供を行います。
		D-1-2	事業スケジュールはどのくらいの頻度で更新されますか。	工事の進捗や重要な変更があれば随時お知らせします。
E.新築工事	1.新築工事について	E-1-1	【2026/4/6追加】 2月の建築工事の入札で落札しましたが、今後どのようなスケジュールで進みますか。	【2026/4/6追加】 令和8年第1回北区議会定例会での議決（3月25日）を経て建築事業者と契約いたしました。今後は「赤羽台西小学校新築工事説明会」（4月21日開催）を経て、建築工事を開始します。また、電気工事、給排水衛生工事、空調工事については令和8年5月の入札を予定しております。